

# 迎春 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

合併後の山都町のまちづくりに関心、私心を持ち込まず、愛町一路の信念で、みなさまの指導を仰ぎながら、今年も精一杯がんばります。

今年、生活面での基礎的条件の整備に努めます。高速度道路は、町の過疎対策の特効薬のひとつだと考えます。早期完成に向け、予算確保のための運動を強力に進めます。また、町内を走る県道・町道の整備や浄化槽の普及推進、太陽光発電設置を支援します。新庁舎建設については、大変ご迷惑をおかけしてはいますが、今年こそ着工します。各町村長が合意し、議長立ち会いのうえで決定された合併時の協定を守り、実行するのが王道の政治です。早く完成させ、機構改革や事務改善に努めて、合併特例債をうまく活用し、将来を見据えた盤石の財政運営を行います。

夏秋野菜の生産出荷額は昨年も好調でした。都市の経済が低迷している一方で、基幹産業である農業が元気なのは、嬉しいものです。トマト選果機導入を支援します。林業面では、カーボンオフセット制度の活用などを進める一方、伐採跡地への計画的な再造林を指導します。

浜町商店街のバスターミナル、イベ

ント広場、まちなか再生、美装化などの事業をさらに進めます。

子育て支援の一環として、医療費無料化の対象を中学生まで拡充します。町立蘇陽病院の完成は8月末の予定です。透析治療が可能な設備を整え、歯科を統合し、信頼される病院を目指します。民間の特別養護老人ホームが2施設オープンしますが、必要な福祉サービスを充実します。

そよ風パークの「道の駅」認定に向けた取り組みを推進します。沿線産業の賑わいを期待し、車の流れを増やし

たいと考えています。

全国棚田サミットが、10月に山都町で開催されます。条件不利地の農業に対する理解を変え、全国へアピールします。

九州新幹線の開業効果を期待し、町の魅力を開西など新幹線沿線都市に向け発信していきます。3月の日向往環歴史ウォークにたくさんの方を呼び込みたいと思います。引き続き、文化行政の推進と人づくりにがんばります。

人口減少が著しい山都町ですが、都

市住民の田舎志向が進むなか、1ターンのUターン対策を充実させ、受け皿づくりを進めます。

価値観に変化が見られる近年ですが、山都町の住環境のすばらしさを再確認し、誇りを持って、自らのライフスタイルを確立したいものです。今年が昇竜のごとき勢いある年になるように、熱い思いを持ち、町政に取り組みます。皆様にとって幸多い年となりますようにお祈りいたします。



山都町長 甲斐 利幸

山都町議会議長 藤川 憲治

明けましておめでとうございます。町民のみならずには、益々ご健勝にて心も新たに、新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。私たちは、時の流れの中で、ともすれば自分を見失いがちです。人は時々立ち止まり、心に花を咲かせる必要があります。本来ならば、昨年1年間でたまった疲れをいやすために、のんびりと、自分を静かに振り返るゆとりを持つことも大切ですが、元旦からさまざまな行事や催しものに参加しながら、今年も多忙になる毎日を感じ、確固たる自信と信念を持ち、初心に返り責務を果たしていかねばならないことを痛感しました。

正月は、年齢に関係なく心ときめき、清々しさを感ずる、新たな希望をかきたてられる節目でもあります。しかし、最近の私たちが取り巻く状況は厳しさが増すばかりであり、内外の政治、経済、社会情勢、どれをとっても将来に対する不安、不信、先行きの不透明感が充満して閉塞感に覆われています。

国難ともいふべき東日本大震災は、今までの国のあり方を根底から大きく転換しなければなりません。私たちは1日も早い復興・復旧を願い、被災地に笑顔が戻るのを願うばかりです。そんななか、国民の9割以上が「幸福」と感じているブータンの、若き国

王夫妻の来日には、一服の清涼感と心の安らぎを覚えました。

一方、町内においては、昨年は大きな災害もなく、町政においても計画どおり、そして着実に成果を上げました。最大の懸案である新庁舎建設についても着工目前です。

新しい年を迎えるに当たり、町議会も決めたこと、決められたことは守り、選良された議員として、町民の負託と期待に添うべく、心を新たに「山都町」の躍進の年になるように一丸となつて取り組まなければなりません。みなさまのご健康とご多幸を心からお祈りして、私の年頭のご挨拶とします。